

3

2013年を振り返る
田原市10大ニュース
Local News

平成25年の田原市に関する主な出来事を振り返りました。(順不同)

◆三河港とウラジオストク港を結び
コンテナ定期航路の開設で三河港が活性(1月)



トヨタ自動車(株)田原工場で生産された自動車部品を運ぶための新規コンテナ定期航路が1月25日に開設。コンテナ取扱数量が過去最高の伸びを記録。

◆「日本一の花の生産地から、日本一花を贈るまち」を目指した取り組み開始(4月)

『たはら21新農業プラン』に基づき、「日本一の花の生産地から、日本一花を贈るまちに！」をスローガンに、愛知みなみ農業協同組合、花き生産者などと連携し、花を贈る取り組みを展開。

◆避難誘導のための「道標プロジェクト」の取り組みが始まる(6月)

全国消防職員意見発表会で、最優秀

賞を受賞した遠山消防士が提案した「道標」。災害発生時に市民や観光客でも簡単に分かる避難誘導など、取り組みが始まる。

◆婚活テレビ番組「田原の花嫁お見合い大作戦」が田原市で収録(7月)

婚活をテーマにした企画番組で有名なTBSテレビ番組「もてもてナインティナイン」が田原市で収録され、市民約2000名が花嫁候補を出迎え、本市の知名度とイメージの向上が図られた。

◆プロ野球「小川泰弘選手」、プロボクシング「金子大樹選手」が大活躍(8月、11月)



プロ野球東京ヤクルトスワローズの小川泰弘選手(赤羽根町出身)が「セリーグ新人王」を受賞(11月)。



プロボクシング日本スーパーフェザー級王者の金子大

樹選手(赤石出身)が4度目の防衛に成功(8月)。

◆渥美窯の代表作品で国宝の「秋草文壺」などが800年ぶりに里帰り(10月)



平安後期から鎌倉時代にかけ、当時の政治・経済・文化の中心地である奥州平泉や鎌倉などに美と技が提供された渥美窯。その中でも、まほろしの窯といわれる国宝「秋草文壺」が800年ぶりに里帰りした。

◆三河田原駅新駅舎が完成、田原駅前通り線が開通(10月)



「スタートステーション」はじまりの駅を新しい駅のコンセプトとして安藤忠雄建築研究所が設計を手がけた新駅舎が完成。それに伴い、田原駅前通り線が開通。

◆田原市誕生から10年(4月)

田原市誕生から10年を迎え、改定第1次田原市総合計画がスタート。市制施行10周年を記念し、オリジナルナンバープレートを発行するなど、さまざまな記念事業を展開。10月には市制施行10周年記



念式典を開催し、田原市出身や本市にゆかりのある8名を「田原市ふるさと大使」として委嘱。同時に、田原市観光PRグループ「La.花ノたみ」がデビューした。

◆和地、堀切、伊良湖の3小学校を平成27年4月に統合、新設校としてスタート(11月)



「防災・少子化に伴う小中学校の再編基本方針」に基づき、和地、堀切、伊良湖校区が「小学校再編に関する要望書」を提出。これを受け、平成27年4月に3小学校を統合し、新設校としてスタートすることを教育委員会が決定した。

◆「まちおこし事業」が活発化(幸せの四つ葉プロジェクト、地元産芋焼酎・亀若など)

あつまるタウン田原と市内の障害者施設などが連携して始まった「幸せの四つ葉プロジェクト」。田原区が企画した地元産芋焼酎「亀若」。田原駅前周辺の商店街が開発した「街なか弁当」。NPO法人「With」によるトライアスロン伊良湖大会の運営。NPO法人「たはら国際交流協会」の誕生など。